

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 48 号:2017 年 11 月－12 月期】

- * 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

経済概況

2017年1～9月期のウズベキスタンのGDP成長率は5.3%

速報値によると、2017年1～9月期のGDPは170兆スムを上回った。2017年のGDP成長率は5.5%程度になるものと予測されている。サービス業の生産額は39兆4,000億スム、鉱工業生産は37兆8,000億スム、農業生産は25兆7,000億スムであった。最も成長率が高かった部門は商業および宿泊・外食サービスで106.5%、輸送・倉庫、情報・通信は107.3%、その他のサービス部門は106%の伸びを示した。所有形態別のGDP構成比をみると、民間部門が80.3%、公的部門が19.7%であった。

2017年1～10月期の商品とサービスの消費者物価上昇率は9.3%であった。同期間の食品の価格上昇率は平均9.4%、食品以外の商品は10.3%、サービスは7.2%であった。

2017年1～10月期の外国投資は42億ドルであった。国家投資委員会のデータによると、そのうち30億ドル以上が直接投資であった。

2018年のGDPは前年比5.9%増の290兆6,000億スムと予測されている。歳入はGDPの21.4%、すなわち62兆2,300億スム、歳出はGDPの21.4%、すなわち62兆1,700億スムとなる見込みである。

貿易

2017年1～9月期の貿易額は前年同期比16.6%増の199億ドル5,000万ドル

輸出額は前年同期比25.6%増の103億6,000万ドル、輸入額は8.3%増の95億9,000万ドルであった。貿易収支は7億4,060万ドルの黒字であった。

ウズベキスタンが全ての品目の輸出関税と輸出ライセンスを撤廃

例外は、法律に定められた一部の特殊品目のみである。上記に関する大統領令は2017年12月15日に署名された。この措置は、貿易の自由化とウズベキスタン製品の輸出拡大促進を目的として採択されたものである。

上記の大統領令により、大統領または政府の決定に基づき輸出が行われる品目のリストも承認された。このリストに含まれるのは、肉、食肉副生物、穀類、小麦粉、植

物油、砂糖、パン製品（焼菓子、ケーキ、クッキー、ラスク、クルトンおよび同様の自家製揚菓子を除く）、鉱石およびタングステン精鉱、ポリエチレンテレフタレート・スクラップ、皮革・羽毛・毛皮原料、蚕の繭、生糸、屑絹、非鉄金属スクラップ・廃棄物、重要な芸術的、歴史的、学術的または文化的な価値を有する骨董品である。

投資・金融セクター

欧州復興開発銀行 (EBRD) は 2018 年にウズベキスタンで総額 1 億 8,600 万ドルのプロジェクト 15 件を実施する計画

EBRD は、経済改革を効率的に実施するプロセスへの協力によりウズベキスタンを支援する用意があることも表明している。とくに、文化・歴史遺産を考慮し、ウズベキスタンは、ホラズム州総合観光発展プロジェクトのパイロット・ゾーンとして選定され、このモデルはさらに国内の他の地域にも適用される予定である。EBRD は、このプロジェクトのパートナーとして、観光分野における大規模プロジェクト実施の経験が豊富な組織、企業、研究機関を誘致する予定である。

シルダリヤ州の工業団地「PENG SHENG (鵬盛)」の管理会社が開発事業の成果について発表

同工業団地は自由経済区「ジザク」の支部で、現在までに 30 件以上のプロジェクトが実施されている。同工業団地は 2009 年に設置され、面積は 102ha で、靴、セラミックプレート、衛生器具、動物用飼料などの工業製品を生産する複数の企業が入居している。同工業団地には 1,500 人が勤務しており、その 90% が地元住民である。同工業団地で製造されている資材や部品の一部は欧州市場に輸出される製品の製造において使用されている。

二国間関係

ウズベキスタンとキルギスが貿易分野で総額 1 億 4,000 万ドルの協定を締結

上記の協定では、果実・野菜、化学製品、電気機器、医薬品、繊維・ニット製品、ワイン・酒、皮革製品、靴、乗用車、トラック、バス、農機、建材などの輸出が計画されている。これらの協定は、二国間貿易・経済会議の枠組みにより 2017 年 12 月にタシケントで開催された会合において締結されたものである。この会合には、両国の省庁や企業の関係者 400 名以上が出席した。会合の一環として、通関手続きの簡素化や税制優遇措置による良好なビジネス環境の創出、合弁企業の設立や合弁企業の第三国市場への進出に関する G2B (Government to Business) 形式の協議も行われた。ウズベキスタン共和国貿易省とキルギス共和国経済省の会合の結果、貿易・経済、投資、運輸・通信分野における協力拡大のための 2017～2019 年の共同アクションプラン（ロードマ

ップ) の署名が行われ、首脳レベルでの合意事項の実現にかかる主な施策が確定された。

ウズベキスタンとアフガニスタンが総額5億ドルの協定40件以上を締結

ウズベキスタンはアフガニスタンに電力、農産品、医薬品、建材、輸送機器およびその他の製品を輸出する。アフガニスタンのモハンマド・アシュラフ・ガニー大統領がウズベキスタンを訪問し、上記の協定が締結された。訪問中、政治、貿易・経済、投資、運輸・通信、学術・教育およびその他の分野における両国の協力拡大を目的とする20件の合意文書が締結された。たとえば、スルホン〜プリ・フムリ間送電線建設、マザリシャリフ〜シェベルガン〜メイマネ〜ヘラート間鉄道建設、貨物輸送および関税分野の協力に関する文書が交わされた。

自動車・機械工業セクター

GMウズベキスタンがサントペテルブルグにおけるRavon生産の可能性を調査

この計画では、年間生産能力10万台以上のGMの閉鎖された自動車工場を利用することを想定している。2017年1〜11月のロシアにおけるRavonの販売台数は1万2,978台であった。GMウズベキスタンでは、年間販売台数を1万5,000台にする計画である。これに先立ち、同社はカザフスタンでも合弁生産の開始に取り組んでいることが伝えられていた。

ウズベキスタンに産業用蓄電池工場建設の計画

ウズフトルツヴェトメト（ウズベキスタン非鉄金属スクラップ・廃棄物加工工場）をベースとして韓国メーカーUnicor Co. Ltd.の機器を設置し、2018年半ばに稼働を開始する計画である。このプロジェクトは、同工場の組織再編・近代化・多角化プログラムの一環として実施されている。産業用蓄電池は、代替エネルギー、モバイル通信ネットワークおよび自家発電に対するニーズが存在するその他の分野で活用される見込みである。将来的には製品を輸出する計画もある。

エネルギー・セクター

ルスギドロがウズベキスタンの水力発電所建設・近代化プロジェクトに参加の可能性

2017年11月、ウズベクエネルギーとルスギドロが、ウズベキスタンにおける水力発電発展プログラムへの参加可能性調査を目的とする協力覚書を締結した。同覚書では、水力発電所2基の新設および6基の近代化へのルスギドロの参加の可能性が検討されている。具体的には、ルスギドロの子会社のレンギドロプロジェクトが出力404MWのプスケム水力発電所の設計を行う予定である。また、レンギドロプロジェクトは、タシケ

ント水力発電所群（HES-1）、チルチク水力発電所群（HES-10、フェーズ3）、サマルカンド水力発電所群（HES-2B、フェーズ3）、アンディジャン水力発電所群の近代化プロジェクトの計画立案にかかる入札にも参加する予定である。

その他のセクター

2017年1～9月のウズベキスタンの業務ビザ発給数が前年比27%増加

2017年1～9月期の外国人に対するウズベキスタン入国ビザ発給数は22万4,022件で、そのうち9万6,752件が観光ビザ、3万2,898件が業務ビザであった。前年同期に比べてビザの総発給数は21%、観光ビザは24%、業務ビザは27%増加した。

また、ウズベキスタンは30日間の統一観光ビザを導入した。個人旅行者の観光ビザ発行手数料は60ドルから40ドルに引き下げられた。以前は、短期観光ビザ（7日または15日）を取得した外国人の復路便が何らかの理由により遅延した場合、ビザ有効期間の延長に伴う問題が生じていた。団体観光ビザの構成人数も最低10名から5名に引き下げられた。こうした措置は、ウズベキスタンの観光および投資の魅力を高めるためのより幅広いプログラムの一環として取られたものである。

韓国三大名門大学（SKY：ソウル大学校、高麗大学校、延世大学校）がウズベキスタン支部開設の可能性を検討

優先分野は、建築、都市計画、土木工学である。ミルジヨエフ大統領の韓国公式訪問の結果、このような合意が交わされた。ウズベキスタンの教育市場を調査し、今後の共同作業の可能性と方向性を決定するための共同ワーキンググループの設置が計画されている。

中国企業Wanbangがウズベキスタンの農業分野に約5億ドルを投資

同社の代表団がウズベキスタンを訪問し、タシケント、サマルカンド、ジザク、シルダリヤの各州を視察した。訪問の結果、ウズベキスタン企業オジク・オフカトと中国企業Henan Wanbang Selected Supply Chain Management Co. Ltdの間でプロジェクト15件の共同実施に関する協定が締結された。ウズベキスタン共和国農業・水利省もこの協定に参加している。畜産品を含む農産品の生産、加工およびパッケージング、完成品の輸出、輸入および再輸出といった分野における協力が計画されている。